

2017年度事業報告(案)

2017年 4月 1日 から 2018年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 ぐるったネットワーク大町

① 地域資源の発掘・保全事業

ア. わっぱらんどの保全管理

7月18日(祝)、「わっぱらんどの会」メンバーと共に、恒例のわっぱらんどの夏祭りを開催した。



② 地域資源を活かした、青少年の健全育成事業および観光事業

ア. 小中学生の地域学習サポート

(地球環境基金助成事業 200 万円で交付決定済み、3 年中 2 年目)

＊市内 4 校の中学生の地域学習のまとめの冊子作成と、報告会の開催

- ・報告書 40 頁 2000 冊を作成。各学校に全生徒数＋関係者分を寄贈し、地域にも配布した。
- ・大町市市民活動サポートセンターが開催する「市民参加と協働のまちづくりフォーラム」において市内 4 中学生の地域学習の成果を発表し、その後のワークショップで参加者との意見交換を行った。
- ・報告・発表の場を設けたことで、地域学習の質が前年より高まっていることを感じた。





市内4中学の成果が冊子に

生徒が調べた「地域」冊子に 大町市内の 4中学校 学習成果まとめ完成

大町市内4中学校の地域学習の成果をまとめた冊子「大町の未来をつくるⅡ」が、完成した。生徒が掘り起こした大町の魅力や地域活性化のアイデアを詰め込み、地域ぐるみのまちづくりにつなぐ、民と学校の懸け橋として役立てられる。冊子は市内のNPO法人・ぐるったネットワーク大町が子どもたちの姿を地元へ伝えようと、昨年度に引き続き発行。約2000部を制作し、市の市民活動サポートセンターなどで配布している。制作には環境再生保全機

2018年1月6日付
大系タイムス

構地球環境基金からの助成を活用した。大町第一と仁科台、八坂、美麻の4校が「総合的な学習の時間」で地域を調べた成果が39ページまとめられた。生徒が旅行会社の社員になりきり大町への旅行プランを立ち上げた。都市部の中学生を観光案内したりと、それぞれの取り組みのレポートが収められている。美麻小中学校8・9年生は、新たな特産品

「ぐへひ」による地域の活性化を目指し、会社の設立や商品開発などを体験。「花豆モンブラン」を地域で販売し、原料栽培のやりがいや商売で利益を上げる難しさなどを報告した。同校8年の米窪愛花さん(14)は「頑張った成果が冊子にまとまり達成感を感じる。他の学校と違うことをしていて面白い。読み返すと、まだまだやりたいことがいっぱい」と話した。

*市内中学校のコミュニティスクールへの関与

- ・中学生への地域サポート10回、サポートした中学校2校、サポートに関わった大人12人
- ・仁科台中学校は、事務局長が学校運営委員会に出向していることもあり、総合学習の担当教員の会議に参加して2017年度の反省・2018年度の計画を共有することができている。
- ・一方で、せっかく関係のできた一中、八坂中からはサポート要請がなく、関わる事ができなかった。教員の異動もあるので、毎年度挨拶が必要。



*わっぱらんどにおける各小学校一年生の自然体験受け入れ

- ・8月：南小・北小、9月：東小、10月：北小、11月東小。5回延べ183人。
- ・いろいろな時期の受け入れができたこともあり、試行錯誤を重ねながら、四季を通じた体験プログラムが整いつつある。



アー2 プログラム開発と案内人養成

*フィールドの調査と研修6回、参加人数延べ98人

- (爺ヶ岳スキー場付近の山菜、八坂淡竹、仁科台中学生とのまち歩き、
Kids Day 子ども達との木崎湖水生生物、爺ヶ岳スキー場付近の冬の森、仁科神明宮)
- ・なかでも、まちなかの資源調査を仁科台中学校1学年観光講座の36人とできたこと、木崎湖の水生物調査を **Kid's Day** に参加した子どもたちと一緒にできたことがよかった。

*ツアープログラム新規開発5本

- (八坂淡竹体験、間伐材クラフト、落ち葉焚き、冬の森歩き、冬の森歩きと木こり体験、仁科神明宮と社の文化財)
- ・冬のかんじきハイクについては、くろよんロイヤルとタイアップした夜の日向山高原、鹿島槍スキー場とタイアップした小熊山・黒沢尾根の散策ツアーを次年度に向けて開発中。

*案内人養成

- (芸術祭ツアーガイド資料集の編集、わっぱらんど夏の水生昆虫の観察と秋の宝探し、テーピング講習、黒沢尾根かんじきハイク、仁科神明宮と社の文化財)
- ・新規ガイド8人、中学生ガイド36人
 - ・仁科台中学校1学年観光講座の36人に、ガイドのポイント講座を実施できたのがよかった。

イ. 教育旅行の受入れ

- 7回 351人
- 7月25日 美園幼稚園学童 24人
- 8月1日 小岩西中学校 113人
- 8月9日 大町東小学校学童 15人
- 8月10・11日 Kid's Day 夏 2回 32人
- 9月25日 武蔵野市立第五中学校 91人
- 1月4日 ピスト教育研究所 28人
- 2月11日 Kid's Day 冬 48人

大町で成長の夏



「キッズデイ」小学生200人 多彩な体験

子どもたちは、より豊かな体験と大町市で立ち上がった小学生向けの体験イベント「キッズデイ」(中村真由美実行委員長)が10月11日、公民館を主会場に開かれ、約200人の小学生が大町市で成長の夏を迎える。

初日は、講話が行われ、講話内容はこの時まで詳細が明かされておらず、当日は、講話後に木崎湖の水生生物が採集され、講話後に会場にて、講話後に会場を

2017年8月11日付 大糸タイムス

ウ. その他ツアーガイド

- 黒部ダムツアー1回 100人
- かんじきハイク 3回 36人
- 仁科神明宮と社の文化財見学ツアー 46人



エ. 信濃大町お葉漬け隊のサポート

* 恒例のお葉洗い: 11月24日、25日、26日

温泉郷森林劇場隣の広場にて

参加者55人(昨年41人)

取り扱い 野沢菜

550kg+漬上り110kg (昨年556kg)



仁科台中 武蔵野第五と交流

大町コミュニティ・スクール一環で

市内の9つある小中学校のすべてで、地域とともにあるコミュニティ・スクールの運営が始まっている。仁科台中学校も、武蔵野市と交流する機会を得た。市民が協力を募り、第五中学校の授業を通して地域を学ぶ機会を得た。仁科中と交流しながら地域の魅力を発信している。

仁科台と第五の2校の1年生が交流する。この日は、3年生の取り組み。J.A.大北農協が窓口となり、武蔵野市が子どもたちを自然体験やふれあい体験をし

2017年10月1日付 大糸タイムス



でもおとりの取り組む「セカンドスクール」の一環として、1年生の3クラスが9月29日から4日(計5日)の日程で白馬村や大町市を訪問した。

初日は、塩の道ちゅうりやを履き、仁科台中生がクラス、仁科台中生と交流した。体育館で開かれた「ボス・タイセション」では、それぞれの生徒がそれぞれの地域の魅力を発表しあった。仁科中生は、松崎和紙や民話の道ダムカレなどの特産品を紹介していた。

仁科中の総合授業「仁科タイム」では、この「食」「自然」としての講座に分れて学ぶ。観光講座を選択した約20人は、仁科タイムをコーディネートする「NPO法人くまのネット」によるガイド講座を受講し、2人ずつペアを組んで、5つの生徒が水の水場や農産物、名産品などを販売した。

商店街をガイドした。生徒たちは自分たちで調べてきたネットによるガイド講座。武蔵野市や大町の成り立ちや、大町の成り立ちや、大町の成り立ちを知りたいという生徒も多かった。

野沢菜漬込み 温泉でお葉洗い

11月/24(金)25(土)26(日)
9:00 ~ 14:00

場所: 大町温泉郷森林劇場脇広場
10kgの野沢菜で洗いから漬込みまで約1時間程です。
10kgの野沢菜で36型の桶が目安です。

お葉洗いスタート!

切り分けもやってみよう!

漬込みで漬込みよ!

★参加方法は5つのコースからお選びください

- ①お葉洗い体験 ...10kg 1,000円
- ②お葉購入、洗って持ち帰る。...10kg 2,800円
- ③お葉購入、洗って塩で漬けて持ち帰る。...10kg 3,800円
- ④お葉購入、洗って醤油で漬けて持ち帰る。...10kg 3,800円
- ⑤お葉購入、洗って切り漬にする。...2kg 1,500円

※今年度は全部で500kgの野沢菜を用意しています。
※数量限定のため、先着順で予約を受付けます。
※でき上がった野沢菜漬の予約もできます。(10kg 5,000円)
持ち物-長靴・エプロン・手袋 無料貸出あり(数に限りあり)
その場で漬けたい方は漬け桶をお持ちください。

要予約

信濃大町お葉漬け隊 事務局
☎ 0261-85-0556
FAX 0261-85-0557
※お電話は午前9時から午後5時の間にお願います。
FAXは24時間受け付けております。

③ 前項をとおした仕事おこし・地域づくり事業

ア. 定住促進おためし体験ツアーの受入れ

7月1～2日 信濃大町暮らし拝見ツアー×アートめぐり
2家族2名

10月21～22日 農のある暮らし現地見学ツアー
6家族14名



2月3～4日 信濃大町冬の暮らし体験ツアー 5家族9名



イ. 北アルプス山麓グランフォンドの事務局

- ・鈴木雷太さんがプロデューサーに就任。150kmのハードコースを新設して7月開催。
- ・前年までは事務局を一手に引き受けていたが、木村プランニング、アドソニック、未来図等が加わるにより、ぐるったはエイド運営に専念。

*北アルプス山麓グランフォンド(7月23日)参加者850人

- ・前年を上回る参加者があり、方針転換が成功したとみられる。
- ・白馬、栂池、鬼無里の湯、小川天文台前、美麻ぽかぽかランド、美麻支所、八坂曾山、池田大峰高原、松川ちひろ公園、大町温泉郷くろべ路の10カ所の休憩所・給水所を統括した。



ウ. アルプスあずみのセンチュリーライドへの協力

2017年から4月と5月の2回開催となった。

*桜の AACR (4月23日) エイドステーション2カ所の運営、参加者1600人

- ・国営アルプスあづみの公園大町松川地区：ネギ味噌おにぎり、黒豆ようかん
協力団体：信濃大町のつけものや、大町水物語の会、松川村黒豆生産加工組合、柴田精米、ほか個人有志
- ・平公民館：往路 おやしき、山菜汁、復路 草餅、冷奴
協力団体：信濃おやしき幸庵、JA 社直売所たんぼ工房、藤長菓子舗、喜久龍、小日向製菓、栗林豆腐店、大町民話の里づくりもんぺの会、ほか個人有志



*緑の AACR (5月21日) エイドステーション3カ所の運営 参加者1600人

- ・国営アルプスあづみの公園大町松川地区：変わり味噌おにぎり、野菜サラダ
協力団体：信濃大町のつけものや、大町水物語の会、キハダ飴本舗、柴田精米、池田町田中農園、ほか個人有志
- ・平公民館：地粉冷麦山菜のせ、水ようかん
協力団体：赤だすき白馬製麺所、藤長菓子舗、大町民話の里づくりもんぺの会、ほか個人有志
- ・美麻新行：そば薄焼き、冷奴
新行そば生産組合、栗林豆腐店、キハダ飴本舗、ほか個人有志

④ 地域の市民活動をつなぐためのネットワーク事業

ア. おおまちの食 おいしいプロジェクトのサポート

まちなかの水と歴史ある建物を巡るスタンプラリー (9月30日～)

市内飲食店・宿泊施設を対象にした学習会 (12月12日)

3年間の活動まとめとしての試食会 (1月24日)

レシピ集、風土と食のリーフレット作成 (2月・3月)



イ. その他市民活動のサポート・地域連携

様々な地域活動に関わる中で、パンフレット等の紙ものの作成の受託が多くなっている。

三蔵呑み歩き公式ガイド原稿作成

恋華めぐりリーフレット作成 (市観光課より)

出会いの杉リーフレット作成 (社宮本・大杉の会より)

緑翠亭景水 グリーンシーズンタリフ

大町の食材を楽しむ会のチラシ・お品書き・席表作成

(市農林水産課より)

ウ. 大町市観光協会、大町商工会議所、大町商工会議所青年部、長野県中小企業団体中央会、地域づくりネットワークへの加入。

エ. 大町まちづくり協議会、定住促進協働会議、北アルプス国際芸術祭実行委員、信濃大町 AIR 協議会、仁科台中学校学校運営委員会、北アルプス子ども応援プラットフォームに委員を出自。

オ. 会議室・プリンター・備品等の貸し出し

例年のプリンター利用のほか、YAMANBA ガールズのおしながきやニュースレターの印刷を大量に行った。



⑤ 地域情報の収集・発信事業

ア. ぐるっとマップ制作 (No170~196、27枚)

4月	桜だより、大町峰街道の桜	10月	北のアートライン、恋華めぐり
5月	北アルプス眺望、松川パノラマウォーク、北アルプス国際芸術祭	11月	池田鉄道、温泉
6月	山案内人100年、 タイアップレストラン	12月	地酒&ワイン、雪道のハザードマップ、国宝仁科神明宮
7月	白馬花三昧、 北アルプス山麓グランフォンド	1月	ゲレ食、小谷体験ツアー
8月	グルメグランプリ、 食のスタンプラリー	2月	仁科文化、大町の淡水魚
9月	三蔵呑み歩き、パワースポット、 大町まち歩き	3月	美麻ライフ、白馬の堰

イ. ウェブサイト等の活用

* ツアーホームページをメインページと統合。

現在、団体紹介、ツアー商品の紹介、これまでの制作・出版物紹介が掲載されている。

* フェイスブック随時